

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

イノベーションの加速とたゆまぬチャレンジで新たな価値を創造、社会課題の解決に貢献

連結経常利益
400億円建設外事業収益比率
25%連結経常利益
265億円連結ROE
12%以上

② 中長期の経営戦略

1. 建設事業の強化

受注力×現場力×収益力の強化。ICT・AI技術開発による施工自動化・省人化、BIM・CIM活用による生産プロセス改革を推進

2. 建設外事業の展開

エネルギー関連事業を核とした収益源確立。系統用蓄電池事業参入、中規模複合ビル開発、CARBON POOLコンクリート製造試験開始

3. 人的資本の価値向上

従業員のWell-being施策の中心化。報酬水準見直し、資格取得研修拡充、従業員エンゲージメントスコア向上を継続

4. ESG経営の推進

温室効果ガス排出削減目標を1.5℃水準に更新しSBT認証再取得。人権教育研修、外国人技能実習生雇用企業への人権デュー・ディリジェンス実施

③ 対処すべき課題

① 経営環境の変化への対応

- ・ 米国通商政策や物価上昇による景気下押しリスク対応
- ・ 金融資本市場の変動への注視強化
- ・ 労務費上昇・資材価格高騰への対応

② 建設業界の構造的課題

- ・ 人口減少に伴う建設投資縮小への対応
- ・ 建設技能労働者の不足・高齢化対策
- ・ 働き方改革と生産性向上の同時実現

③ 脱炭素・サステナビリティ対応

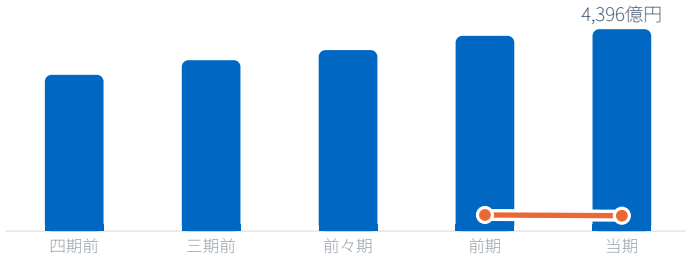
- ・ 脱炭素社会実現への貢献体制構築
- ・ Scope1+2で34%以上、Scope3で21%以上の排出削減達成

面接で使えるポイント

- ・ 安藤ハザマVISION2030で掲げる4つの価値（お客様・株主・環境・従業員）創造への貢献姿勢
- ・ ICT・AI活用による施工自動化・省人化と、系統用蓄電池事業参入など建設外事業の収益比率25%達成への取り組み
- ・ 1.5℃水準の温室効果ガス削減目標とSBT認証再取得、従業員エンゲージメントスコア80%以上達成による社会課題解決への貢献

証券コード 1719

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,396億円営業利益率
7.6%財務健康度
55点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 65.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,063万円

建設業内 16位/140社

平均年齢
46.3歳

建設業内 11位/140社

平均勤続
17.2年

建設業内 44位/140社

女性管理職
4.5%

建設業内 38位/112社

男性育休
101.6%

建設業内 15位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

